

<保健医療分野の団体からの提案>

はじめに: YDP Japan2006 において保健医療分野で活動するユース団体は Youth Sharing Discussion やネットワークセッションを通して、ユース団体のネットワーキングの可能性を考えた。Night Meeting で意見を集約し、YDP Japan2007 に向け保健医療分野の団体からの提案を行う。

期間: 2006年6月25日～2007年度総会

現在の問題点:

- ・現在のユースの間では、情報や活動が分散し、日本のユースとしての発信ができていない。
- ・多くの人が保健医療分野のグローバルアジェンダに無関心である。

ゴール:

1. 活動に関わる人のエンパワーメントとキャリアプランニングサポート
2. 活動の対象となる人の意識喚起と行動変容の促進

戦略:

- 1.1 全国ユースネットワークの活性化と外部との連携強化
- 1.2 グローバルヘルスに関する様々な事例やそれに関する他国のユースの取り組みへの理解
- 1.3 活動ツールの向上・開発と共有など（ブース展示、啓発活動、効果測定、online data base)

- 2.1 ユースに対しての情報提供(特にウェブなど)
- 2.2 アドボカシーによる、政策・社会環境の変革
- 2.3 マス・メディアなどを利用したアドボカシー

評価とアウトプット:

1. 2007年3月までの活動を評価
2. その戦略の達成度を評価し、報告書を作成
3. 報告書の内容を、それ以降の活動へ還元

アジア・壁地医療を支援する会
アデオジャパン
医療系学生による国際協力隊 euphoria
国際医学生連盟日本
国際保健学生フォーラム
日本国際保健医療学会学生部会
HAATAS
薬学生の集い
(五十音順)